

JATM、イルクーツク航空でチャーター便

ハバロフスク／松本間を3往復

シャパン・エア・トラベル・マーケティング (JATM) は、9月13・16・20日の3日間、イルクーツク航空を利用してハバロフスク／松本間を1往復ずつ、合計3往復のチャーター便を実施した。使用機材は座席数50席のCRJ-200。松本の旅行会社とロシアの旅行会社双方のニーズが合致したため実現となった。JATMによると、これまでウラジオストク航空でのチャーターはあったが、イルクーツク航空では初めて。ツアーはハバロフスク、ウラジオストクの周遊を中心に売れ行きもよく、今後もこうしたチャーターを仕掛けていく考えだ。同社によると、今年は旅行日程が比較的短いハバロフスクを含む極東ロシアへの旅行商品が非常に好調だという。

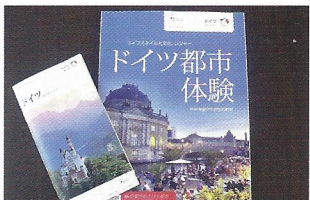


今回のチャーターで使用したイルクーツク航空の機材

ドイツ観光局、一般向け新パンフレット発行

旅行業界関係者へ無償配布

ドイツ観光局は、ドイツ旅行の基本情報がわかるガイドブック『ドイツ旅のポケットガイドVol.12』と各都市の観光スポットやお勧めのイベントを特集している『ドイツ都市体験2013』を発行した。旅行業界関係者を対象に、リクエストに応じて無償で配布している。申し込み方法は、希望パンフレット名、希望部数、送付先住所、電話番号、会社名、担当者名、Eメールを記載し、ドイツ観光局まで、ファクス (03-3586-5079) で申し込む。問い合わせは、同観光局 (Tel: 03-3586-0380) へ。なお、『ドイツ旅のポケットガイドVol.12』は20部以上、『ドイツ都市体験2013』は5部以上の場合は、受取人払いでの宅配便で発送する。



発行された『ドイツ旅のポケットガイド』(左) と『ドイツ都市体験2013』

米ニューオーリンズ、日本での旅行誘致を強化へ

2018年外国人観光客数100万人を目指す

米国ルイジアナ州ニューオーリンズ観光局の観光事業部ヴァイスプレジデントのキム・プリエズ氏 (写真) がこのほど来日した。12年にニューオーリンズを訪れた外国人観光客数 (カナダおよびメキシコを含む) は約65万人で、総訪問客数の7%を占めている。日本市場について、「大手ホールセラーによるニューオーリンズを訪れるコースの商品造成が増えている。日本マーケットでの活動を今後強化したい」と語った。ニューオーリンズは全米で最も古い市のひとつで、2018年に設立300周年を迎える。同局では日本や中国、韓国など主にアジアでの旅行誘致を促進し、今後5年間で海外からの訪問客数を100万人へ引き上げ、2018年に総訪問客数1300万人を目指す。



松江市とは小泉八雲が縁で友好都市提携を結んでいる

KEがワールド・トラベル・アワードの部門賞

「アジア最高のファーストクラスエアライン」に

大韓航空は10月1日に、ドバイで開催されたワールド・トラベル・アワード2013アジア・オーストラリア地域授賞式で「アジア最高のファーストクラスエアライン」を4年連続で受賞した。ファーストクラスシートを改良した最高級シート「コスモスイート」をB777、A380などの次世代航空機に装備して運航している点、さらに機内食、ソウル仁川空港での受け入れなどさまざまなサービスが評価された。

ワールド・トラベル・アワードは1993年にイギリスのワールドトラベルグループ社によって設立。世界の旅行・観光業界のエキスパートと一般消費者による投票で、さまざまな部門において選定され、その功績を称えるものとして知られている。



アナンタラ・ドバイ・ザ・バーム・リゾート&スパで行われた授賞式

ピンパールラグジュアリー、日本マーケット好調

ホールセラー各社による商品化で

山トナムのニャチャンとダナンで高級リゾートを展開するピンパール・ラグジュアリーは10月3日、都内で感謝の夕べを開催した。来日したビクトリア・ヒリー営業部長は、「ホールセラー各社によるパッケージ商品造成と販売促進により、日本マーケットの成長が著しく、2012年の日本からの宿泊者割合は約15%へ増加した。今後の取り組みとして、女性層や若いカップルおよびハネムナーを主なターゲットにした特別プランの提供やプロモーションを展開することで、さらにこれらの層の取り込みを拡大したい」と述べた。現在、ハノイなど国内の複数の都市でリゾート建設が進められており、ベトナム国外への進出も視野に入れているという。



出席した旅行会社へ感謝の意を表したヒリー営業部長

スタークルーズ「ハローキティ・アット・シー」

サンリオとのタイアップで発見と驚きの船旅を

スタークルーズはこのほど、サンリオとともに洋上初となる「ハローキティ・アット・シー」クルーズをスーパースター・ヴァーゴ、スーパースター・リブラで運航することを発表した。「ハローキティ」テーマクルーズは11月17日から12月29日まで2隻で合計38回行われる予定。同クルーズではハローキティをはじめ、ディアダニエル、マイメロディなどサンリオのキャラクターとの触れ合いや、ハローキティのミュージカルショーやティーパーティー、アート&クラフトなど、特別プログラムを楽しむことができる。同社営業部門のマイケル・ゴー上級副社長は、「全てのお客様にとってかけがえない経験になることを確信している」と語っている。



「ハローキティ」のテーマクルーズが11月から始動する